

平成26年度 シラバス

教科名(音楽) 科目名(音楽応用) 単位数(4) 対象学年(3年生芸術教養コース音楽選択)

学習目標:芸術教養コース3年間の集大成として、音楽全般の視野をひろげ、一人ひとりが目標を持って演奏を中心とした活動を行う。

学期	月	時数	累計	指導内容	備考
1 学期	4	12	12	・演奏する楽器、曲目を決める。(4h) ・発表会で取り組みたいテーマを決め、各自の年間予定を立てる。 ・個人レッスン	図書館利用
	5	16	28	・個人レッスン(学期を通して) ・演奏する曲の作曲者について調べる	
	6	16	44	・個人レッスン / 録音会	納得がいくまでねばり強く繰り返し返させる
2 学期	7	12	56	・演奏曲の作曲者についてのレポート発表(2h) ・個人レッスン	図書館利用
	9	16	72	・資料収集(1学期に集められなかった資料、不十分な点の修正) / ・発表会の曲の決定	
	10	16	88	・中間発表会(これまで取り組んできたことを発表する)(2h) / ・個人レッスン	
	11	16	104	・発表会のプログラム作成 / ・個人レッスン	
3 学期	12	12	116	・発表会のパンフレット作成 / ・個人レッスン	演奏上のマナーについても配慮する 納得がいくまでねばり強く繰り返し返させる
1	16	132	・個人レッスン ・発表会(卒業試験としてみんなの前で演奏する)		
	2	8	140	・個人レッスン ・録音会	

*学期は評価対象の月のまとまりとして表記してある

評価の観点・方法

授業態度、提出物、準備物、実技、ペーパーテスト(年1回程度)を総合的に評価します。

<主な観点>

- ◇ 授業態度———学習課題(教材)にまじめに取り組んでいるか 遅刻せずに出席しているか
 - ◇ 提出物———毎回きちんと出しているか
 - ◇ 準備物———教科書やリコーダーなどを忘れずにもってきているか
 - ◇ 実技(歌)———元気な声で歌えているか、音程やリズムがとれているか、正しい指づかい、曲の表情を表現できているか等
 - ◇ 実技(器楽)———正確なリズム、テンポキープ、フレージング、表現の工夫、など曲の表情を表現できているか等
- 学習の最初と終わりで向上がみられるか(努力のあとがみられるか)

学習のポイント

授業に取り組む姿勢も評価に大きく影響します。真摯な態度で授業に臨むことを期待します。音楽大学等への進学を考えている生徒は、専門的な個人学習を受けることが必須です。課外講座の受講のほか、大学の先生や生徒を音楽大学等に進学させた実績のある声楽家・演奏家の先生などに個人学習を受けて技術の向上を目指してください。